

2024 年 8 月 28 日

病院倫理委員会で承認された治療法

当院の未承認新規医薬品等評価委員会で下記の医療が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページに情報を公開することにより投薬を実施しております。この内容に関して同意できない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。なお、本件について同意できない場合でも診療において不利益を被ることはありません。

記

実施内容	眼科手術におけるブリリアントブルーG の適応外使用
実施責任者	久留米大学病院 病院長 野村 政壽
対象者	白内障手術または硝子体手術を受ける患者
承認日	2024 年 8 月 28 日
対象期間	承認日から永続的
目的・意義	眼科手術にて眼内組織を染色し手術の安全性、効率性を高める方法は標準的です。 硝子体手術時の内境界膜剥離をする処置を行う際の染色、 白内障手術時の水晶体前囊を切り取る処置をする際の染色に有用です。 他の染色を目的とした薬剤もありますが副作用の観点から本薬剤がより安全と考えます。 ブリリアントブルーG は日本で開発され、すでに欧米では承認を得ており、現在まで重篤な合併症・副作用が生じた報告はありません。
想定される 不利益と対策	残存した薬剤による角膜内皮障害や網膜障害の可能性はありますが、手術中に洗浄を十分に行い残留量を最小限にします。
問い合わせ先	久留米大学病院 眼科担当医師 電話 0942-35-3311（代表）

以上